



平成20年9月11日

各位

会社名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 今田 輝幸
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 取締役副社長 佐藤 勝弘
(TEL. 06-6683-3101)

平成21年3月期の中間期および通期の業績予想修正に関するお知らせ

平成20年5月16日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の中間期および通期における業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期中間業績予想の修正

(1) 連結中間期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位: 百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,370	△39	△124	△140	△3円14銭
今回修正予想(B)	11,515	△209	△348	△468	△9円05銭
増減額(B-A)	145	△170	△224	△328	
増減率(%)	1.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成20年9月中間期)	14,506	△524	△632	△769	△27円30銭

(2) 個別中間期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位: 百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,454	△53	△136	△151	△3円38銭
今回修正予想(B)	10,691	△201	△345	△463	△8円95銭
増減額(B-A)	237	△148	△209	△312	
増減率(%)	2.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成20年9月中間期)	13,581	△458	△576	△642	△22円79銭

2. 平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正

(1) 連結通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円, %)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	23,421	308	146	93	2 円 07 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	25,339	384	166	41	0 円 43 銭
増 減 額 (B－A)	1,918	76	20	△52	
増 減 率 (%)	8.1	24.6	13.6	—	
(ご参考) 前期実績（平成 20 年 3 月期）	26,663	△469	△672	△898	△27 円 24 銭

(2) 個別通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円, %)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	21,542	255	94	44	0 円 98 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	23,535	352	130	9	0 円 09 銭
増 減 額 (B－A)	1,993	97	36	△35	
増 減 率 (%)	9.2	38.0	38.2	—	
(ご参考) 前期実績（平成 20 年 3 月期）	24,885	△432	△644	△771	△23 円 39 銭

2. 修正の理由

(1) 連結中間業績予想の修正について

卸売事業および外食事業におきましては、堅調に推移しておりますが、第 2 四半期以降、ホテル事業において、人員不足により営業力が低下し、婚礼、宴会需要を取りこぼし、苦戦を強いられております。また、それに伴い宿泊、飲料部門の業績にも影響を及ぼしました。

上記現状に対し、人員の補填を行い改善を図っておりますが、回復に時間を要しており、急速な改善には至っていない現状であります。

また、先般お知らせいたしました転貸借契約の解消に伴い対象の 9 店舗を当社直営に変更したほか（平成 20 年 8 月 11 日付「転貸借契約の解消に関するお知らせ」ご参照）、一部新規店舗を出店したことによる当該店舗の業績見通しを加味しております。

以上により、中間期における連結の業績予想数値に関しまして、売上高を 11,515 百万円、営業利益を△209 百万円、経常利益を△348 百万円、当期純利益を△468 百万円に修正しております。

(2) 連結通期業績予想の修正について

平成 20 年 9 月 5 日発表の「吸収分割契約の締結に関するお知らせ」にて、お知らせしたとおり、平成 20 年 11 月より、給食事業が新たな事業として加わるため、それに伴う平成 20 年 11 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの業績見通しを加味しております。（当該吸収分割は、平成 20 年 10 月開催予定の臨時株主総会における承認を前提としております。）

また、上記、2. (1) に記載のとおり、中間期における業績予想の修正に伴い、通期においても影響が及びますが、給食事業が加わることで、その損失を吸収することが可能となります。

また、給食事業におきましては、非常に収益性が高くかつ安定している上、今後においては既存事業との相乗効果も期待できるため、収益に大きく寄与する見込みであります。

尚、当該の給食事業の承継に伴うのれんの償却は、軽微であります。

以上により、通期における連結の業績予想数値に関しまして、売上高を 25,339 百万円、営業利益を 384 百万円、経常利益を 166 百万円、当期純利益を 41 百万円に修正しております。

(3) 個別業績予想の修正について

主に連結業績予想と同一の要因によるものであります。

〈補足〉

平成 20 年 9 月 5 日発表の「吸収分割契約の締結に関するお知らせ」にて、お知らせしたとおり、吸収分割により給食事業を承継いたしますが、当該事業における今後の業績見通しにつきましては、以下のとおりとなります。

尚、現状における受託施設数およびその対象入居者数が増加傾向であることを鑑み、平成 22 年 3 月期および平成 23 年 3 月期においては、それぞれ年間 6 施設、約 360 名の入居者が増加する見込みの元、算出しております。

また、受託施設数の増加に伴う、管理部門の費用（経理、総務等に関わる経費）増は、ありませんので、営業利益率は上昇推移する見込みであります。

給食事業 業績見通し

(百万円)

項目	平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 11 月～ 21 年 3 月の 5 ヶ月間)	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期
売上	1,498	3,744	3,964
売上総利益	958	2,387	2,521
営業利益	234	594	652
経常利益	240	609	666

※平成 21 年 3 月期の数値におきましては、給食事業承継後の平成 20 年 11 月 1 日から平成 21 年 3 月末日までの 5 ヶ月間の業績見込みを反映させております。

(ご参考) 受託施設数および対象入居者数 推移

項 目	平成18年 3 月 31 日 時点	平成19年 3 月 31 日 時点	平成20年 3 月 31 日 時点	平成20年 8 月 1 日 時点
受託施設数 (労務委託等の部分委託を含む)	70	97	117	126
給食提供対象入居者数	約3,240名	約4,180名	約5,170名	約5,500名

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以 上